

地域から始めよう



子どもを狙う事件について

12/2(水)午前7時30分頃、藤枝市内において集団登校中の小学生女児が、男にプラスチック片で切りつけられ、軽傷を負う事件が発生しました。犯人はすぐに逮捕されていますが、藤枝市内では2年前にも下校途中の小学生男児が刃物で切りつけられ、大けがを負う事件が発生しており、地域のみなさんの動揺は少なからず広がっています。

子どもを守るため、
地域でできること



- ・犬の散歩や通勤などの日常生活の中で、防犯の視点で子どもを見守る「ながら見守り」にご協力をお願いします！
- ・青色防犯パトロールの積極的な実施をお願いします！
青色防犯パトロールは犯罪の抑止力だけでなく、地域のみなさんにも安心感を与えます。



横断歩道は歩行者が優先！ 人も車もルールを守りましょう



静岡県内では、交通事故死者107人（※12月15日現在）のうち
23人が道路を横断中に交通事故に遭い死亡
しています。

自動車と道路を横断する歩行者との事故を防ぐためには、ドライバーと歩行者双方が交通ルールを守ることが大切です。

○ 自動車、バイクを運転する方は

- ・横断歩道接近時は減速しましょう。
- ・横断歩道を示す標識や路面の道路標示に注意しましょう。
- ・横断歩道を横断中の歩行者や横断しようとしている歩行者がいる場合は、停止線又は横断歩道の手前で必ず停止しましょう。

○ 歩行者の方は

- ・道路を横断する時は、横断歩道や歩道橋を利用しましょう。
- ・「車からは自分の姿が見えていない」場合があることをあらかじめ理解しておきましょう。

※『横断歩行者が自らの安全を守るための3つの行動』

- ・「手を上げる」、「手を差し出す」、「運転者に顔を向ける」などドライバーに対して自分が道路を横断するという意思表示を明確に行う。
- ・周囲の安全を確認してから横断を始める。
- ・道路を横断中も周囲に気を付ける。



横断禁止標識のある場所での道路横断は危険なので絶対にやめましょう。



「サギ電話」対策について



出典：県警資料

○あなたはどの対策を選びますか？

<ul style="list-style-type: none">✦ 在宅中でも、ずーっと留守電に設定！✦ 電話が鳴っても、相手が留守電メッセージに吹き込むまで電話に出ない！！	対策① へGO!
<ul style="list-style-type: none">✦ 「非通知」のほどんどは、サギ電話！✦ 誰から？どこから？ちゃんと相手を確認するまで電話に出ない！！	対策② へGO!
<ul style="list-style-type: none">✦ 「非通知」「知らない電話」には自動で『この通話を録音する』と警告&録音✦ 登録済みの知り合いからの電話は、電話機が誰からの電話か読み上げてくれるので安心	対策③ へGO!

対策①

「家にいても、ずーっと留守電」派

対策費用	0円！ *使っている電話機に留守電機能がついている場合
メリット	留守電ボタンを押すだけで、今すぐ対策できる！
デメリット	留守電メッセージに切り変わる前に、電話に出てしまうと全く効果がない

対策②

ナンバーディスプレイでチェック派

対策費用	月額440円（税込）
メリット	どこからの電話か見て、電話に出られる
デメリット	NTTとのナンバーディスプレイ契約が必要

対策③

防犯機能付き電話機に買い替え派

対策費用	本体価格1～2万円+ナンバーディスプレイ契約【月額440円（税込）】
メリット	自動録音、ランプの色などで危険な着信をお知らせ
デメリット	対策のために費用を要する

*自分に合った対策を選んで、「サギ電話」を撃退しましょう！！